

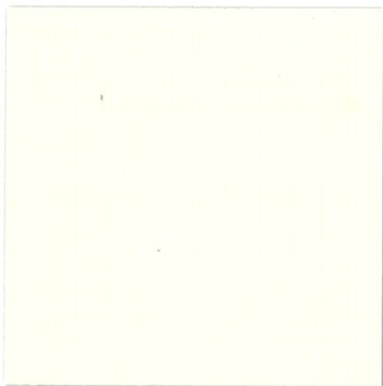
# テント倉庫用不燃膜材料 オール2m巾・PVDF系防汚処理



# ターポロン® G-3000S

国土交通大臣認定品  
 不燃材料認定番号 NM-3534  
 指定建築材料認定番号 MEM-0064  
 (公財)日本防災協会認定品  
 防災製品番号 F-28263

材質 基布：グラスファイバー100%  
 樹脂：ポリ塩化ビニル (PVC)  
 仕様 防汚処理：PVDF系防汚処理  
 厚み：0.53mm  
 規格：203cm×50m (乱)  
 用途 テント倉庫建築物



アイボリー  
[透光率:3.2%]



グリーン  
[透光率:0.1%]



グレー  
[透光率:0.2%]



ホワイト  
[透光率:4.0%]



【施工例】



高透光ホワイト  
[透光率:10.0%]



遮熱アイボリー  
[透光率:1.5%]



## ■物性データ

品番	巾×長さ cm×乱m	厚さ mm	質量 g/m <sup>2</sup>	引張強さ				伸び率		引裂強さ			
				タテ		ヨコ		タテ	ヨコ	タテ		ヨコ	
				kgf/3cm	N/3cm	kgf/3cm	N/3cm	%	%	kgf	N	kgf	N
G-3000S	203×50	0.53	840	300	2940	300	2940	4.5	6.5	15	147	15.3	150
試験方法	JIS L 1096		JIS L 1096 A法				JIS L 1096 C法準拠						

※上記物性データはJISの定める測定方法に基づいた測定値であり、保証値ではありません。

- \* 建築確認申請物件に限り保証書を発行いたしますので別途ご相談ください。
- \* 10年後の引張強度保持率は基準強度(2400N/3cm×2400N/3cm)の70%以上を保証します。(基準強度:国土交通大臣の指定する膜材料に係わる許容応力等の基準強度)
- \* 透光率はJIS Z 8722試験方法にて測定した数値です。
- \* 別注色はロット1500mより承ります。 ⚠ 注意 裏面の注意事項をよく読んで正しくお使いください。

## ■設計基準強度

たて糸方向の基準強度	800N/cm
よこ糸方向の基準強度	800N/cm



平岡織染株式会社

## 国土交通大臣認定について

- 不燃材料認定番号…建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令第108条の2第一号から第三号まで(不燃材料)の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。
- 指定建築材料認定番号…建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、建築基準法第37条第二号の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。

## 注 意 事 項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けです。
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNo.・規格をご確認ください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長時間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無をご確認ください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、そのような用途に使用する場合は必ず弊社までご相談ください。
6. 高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
7. 膜材料が鉄骨等と直接接触する部分には必ず補強(当て布等)をしてください。
8. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等で拭き取り、十分に水洗いし乾燥してからご使用ください。
9. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いのある場合があります。予めご了承ください。
10. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をお勧めします。
11. UVカットについて  
紫外線とは300nm～380nmの放射をさし、JIS A 5759に基づいてUVカット率を算出しています。  
UVカット率95%以上を対象にマークを掲載しております。
12. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
  - (1) 廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。
  - (2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
13. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、取扱店または弊社までご連絡ください。
14. 本カタログの記載内容は改善のため事前の予告なしに変更することがあります。
15. ゴム(配線材等)との接触により膜材が変色する場合がありますので、直接接触しないようご注意ください。
16. RoHS2適合については2020年1月製造分より対応となります。
17. ガラス繊維は折り曲げに弱い性質があります。縫製時及び取付けの際は、折り曲げ等に十分ご注意ください。
18. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。



平岡織染株式会社 HIRAOKA & CO., LTD.

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7 TEL.03-3876-2111 FAX.03-3875-5627  
大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14 TEL.06-6209-7000 FAX.06-6209-7011  
URL <http://www.tarpo-hiraoka.com/>